

福島第二原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月9日（木）

2 確認箇所

- ・4号機原子炉建屋（図1）

3 確認項目

- (1) 4号機原子炉内への異物落下事象について
- (2) 福島第二原子力発電所で発生したトラブルの背後要因について

4 確認結果の概要

(1) 4号機原子炉内への異物落下事象について

福島第二原子力発電所の炉内試料採取^{※1}作業において、6月30日にウエスが、7月2日に養生シートが炉内へ落下するトラブルが相次いで発生した。

福島第二原子力発電所では廃止措置が進められており、原子炉には燃料が装荷されていないことから、炉内への異物落下が直ちに安全性へ影響を及ぼすものではない。一方で、異物が落下した場所は、プールゲート^{※2}を介して使用済燃料プールとつながっていることから、県では、連続して発生した異物落下は県民の不安を招きかねない問題であると捉え、発生状況及び再発防止対策の実施状況を確認した。

ア 机上説明

異物落下の発生状況及び再発防止対策について、東京電力担当者から説明を受けた。

【1回目の異物落下の発生状況】

- ・6月30日、原子炉上部に設置した仮設作業床において、作業ポール^{※3}をウエスで拭き上げながら吊り上げる作業を実施していたところ、作業員が手に持っていたウエスを炉内へ落下させた。
- ・落下したウエスは、7月1日に回収した。

【2回目の異物落下の発生状況】

- ・7月2日、原子炉上部に設置した仮設作業床において作業準備を実施していたところ、仮設作業床の手すりに掛けていた養生シートを炉内へ落下させた。
- ・落下した養生シートは、仮設作業床上に配備していた網を使用し、水面上で回収した。

【再発防止対策】

- ・作業点検を改めて実施するとともに、落下防止の観点から、現場においてリスクの抽出を行った。
- ・原子炉内へ落下する可能性のあるウエス、シート等をリスト化し、それぞれの管理方法を定めた上で、作業要領書に反映した。

イ 現場状況確認

発生現場である 4 号機原子炉上部において、異物落下の発生状況及び再発防止対策について確認した。

- ・原子炉上部の仮設作業床において、異物落下発生状況を確認した。（写真 1）
- ・異物落下防止対策として、ウエス、工具、シート等に落下防止紐が取り付けられていることを確認した。（写真 2）

- * 1 炉内試料採取：原子炉の解体に向けた調査の一環として、炉内の複数箇所から金属片を採取し、発電所外の分析施設において、金属片に含まれる放射性核種の種類や放射エネルギー等を調べるもの。
- * 2 プールゲート：原子炉と使用済燃料プールを仕切る水密性のあるゲート。燃料交換時などにはゲートを開放し、両者を水で連通させることで、水中で燃料を移送できるようにする。
- * 3 作業ポール：炉内試料を採取するための装置を先端に取り付け、原子炉上部から炉内へ降ろすために使用する棒状の器具。

(2) 福島第二原子力発電所で発生したトラブルの背後要因について

福島第二原子力発電所では、昨年度から今年度にかけて、上述した 4 号機原子炉内への異物落下事象をはじめ、トラブル^{*4}が相次いで発生している。

この状況を受け、県は東京電力に対し、一連のトラブルへの対応について説明を求めるとともに、その説明内容を踏まえ、県の意見を申し伝えた。

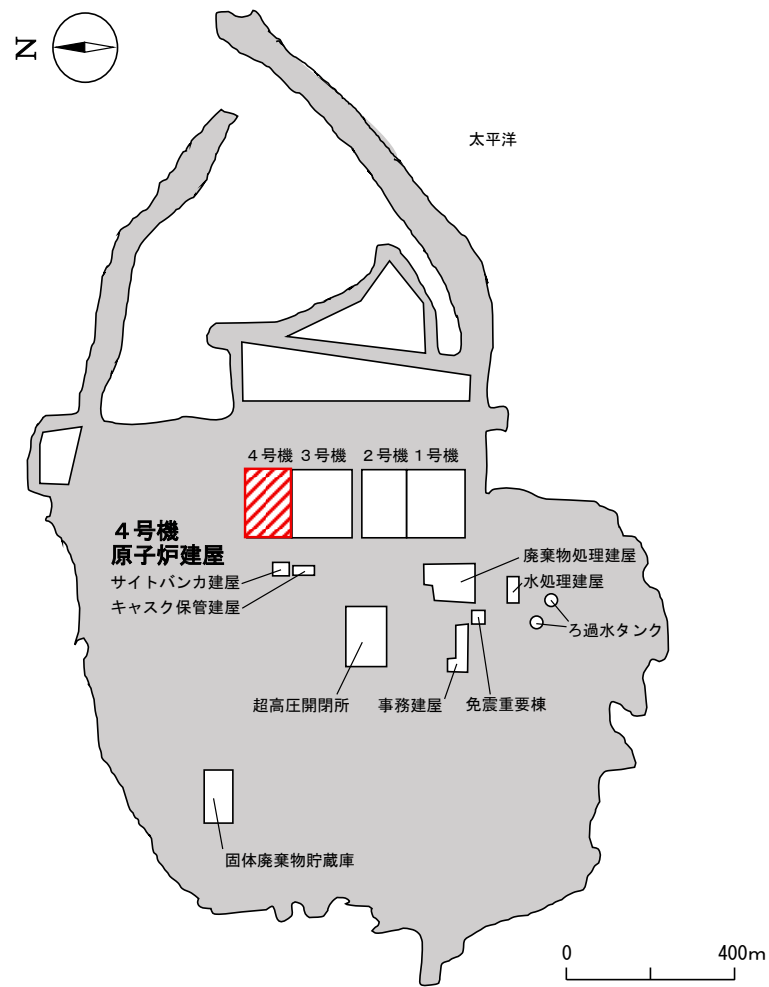
ア 東京電力からの説明

福島第二原子力発電所長やユニット所長、廃止措置安全センター長等から一連のトラブルが発生した背後要因及びこれらに対する対応について説明を受けた。

イ 県からの意見

東京電力からの説明内容を踏まえ、以下のとおり意見を申し伝えた。

- ・廃止措置の進展に伴い、初めての作業が増加することから、従来以上にリスク評価を徹底していただきたい。
 - ・福島第一原子力発電所で得られた知見や教訓を積極的に福島第二原子力発電所へも展開し、同様の事象を未然に防止していただきたい。
 - ・「安全は確保されている」ということだけではなく、「県民が安心できるか」という視点を重視したマネジメント及び情報発信をお願いしたい。
 - ・今回示された改善策については、一過性の取組ではなく、継続的な改善活動として実施していただきたい。
 - ・トップマネジメントが主体となり、PDCAサイクルを継続的に回すことで、安全文化のさらなる向上を図っていただきたい。
- * 4 連続したトラブル：個人線量計不携帯（令和 8 年 1 月 27 日）、管理区域の不要物品の持ち込み（令和 8 年 2 月 12 日）、中性子源変形（令和 8 年 3 月 4 日）、使用済燃料プール冷却停止（令和 8 年 4 月 5 日）、ウエスの炉内への落下（令和 8 年 6 月 30 日）、養生シートの炉内への落下（令和 8 年 7 月 2 日）



(図1) 福島第二原子力発電所構内概略図



(写真1)
異物落下事象発生場所での確認状況



(写真2)
異物落下対策（落下防止紐の取り付け）の状況